

さくら



令和6年5月27日(月)

人間て小さいよね



時には宙(そら)を見上げて、心を落ち着けるとともに、小さな自分を感じることはとても大切です。

宇宙は「無」から生まれたという説があります。「無」とは、物質・空間・時間がない状態です。「無」は「〇」ではありません。「〇」は、3本のバナナがあって、それを全部食べてしまった状態。「無」とは、バナナもそれを食べた人も、食べた時間も存在しないこと。とても難しい話ですね。

ところで、「無」からごく小さな宇宙が生まれては消えているという理論があります。私たちが住んでいる宇宙は、138億年に生まれたものが、何らかの原因で消えずに成長したものであると考えられます。とても神秘的です。

宇宙については、まだまだ解明されていないことが多くあります。とりわけ、宇宙ができた瞬間のことは、仮説はあるものの全く分かっていません。将来、皆さんの中の誰かが解明してくれることを期待しています。

ところで、私たち人間は、138億年の壮大な宇宙の歴史においては、刹那(せつな)を生きています。生きているのか、生かされているのか。自らの力で「生きている」という思いが強すぎると、人は傲慢(ごうまん)になってしまいます。しかし、目に見えない力に「生かされている」ととらえることができれば、人は謙虚(けんきょ)になれるものです。

宇宙の広がりやその歴史の中では、私たちの存在は小さなものです。人の一生などは、瞬間的なもののなのです。また「命」は自分のものですが、それは先祖からいただいたものです。このことを日頃から意識し、「自分勝手」になったり、「傲慢」になったりしている自分を戒めることが大切です。日々、自らを省みて、利他的で謙虚になることを目指しましょう。

刹那：極めて短い時間

傲慢：思い上がり、おごり高ぶり、他人に対して見下すような態度で接する様子を形容する表現。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

